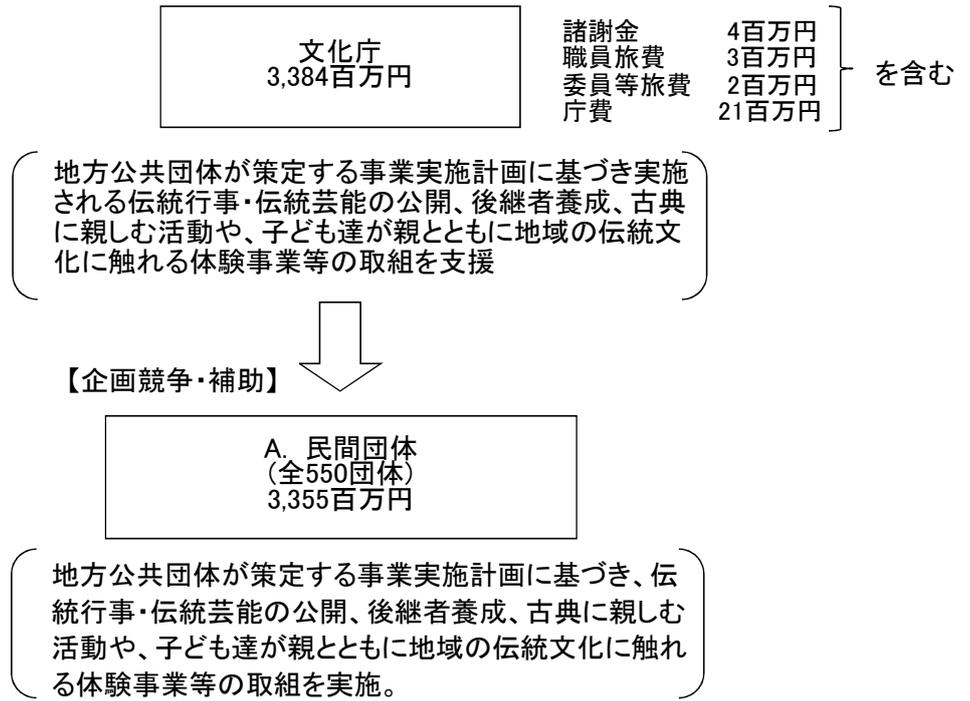


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	文化遺産を活かした地域活性化事業		<b>担当部局庁</b>	文化庁		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度～		<b>担当課室</b>	文化財部伝統文化課		伝統文化課長 湊屋 治夫			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	ⅩⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第10条、第12条、第13条、第14条		<b>関係する計画、通知等</b>	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統行事・伝統芸能の公開、後継者養成、古典に親しむ活動や、子ども達が親とともに地域の伝統文化に触れる体験事業など、特色ある総合的な取組を支援することで、文化振興とともに地域活性化を推進することを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	地方公共団体が策定する事業実施計画に基づき実施される地域の文化遺産に関する情報発信、人材育成、普及啓発、継承、記録作成、調査研究や、子ども達が親とともに地域に伝わる伝統芸能・伝統行事等の伝統文化に触れることのできる機会を提供する取組等に対して補助を行う(補助率:定額)。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度			
		当初予算					3,384		
		補正予算							
		繰越し等							
	計						3,384		
	執行額								
執行率(%)									
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(-年度)	
	本事業は、人々が地域固有の文化遺産に接する機会が増加することで、我が国の伝統文化が未来へと継承されることを目標としているため、定量的な目標を設定することは困難である。			-	-	-	-	-	
			達成度	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	補助事業実施件数			件	-	-	-	※25年度の活動見込みである。	
				-	( - )	( - )	( 550 )		
<b>単位当たりコスト</b>	6.1(百万円/件)		<b>算出根拠</b>	単位当たりコスト 3,355百万円/550件 (文化芸術振興費補助金の予定額及び活動見込件数)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由					
	諸謝金		4百万円						
	職員旅費		3百万円						
	委員等旅費		2百万円						
	庁費		21百万円						
	文化芸術振興費補助金		3,355百万円						
	計		3,384百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略に挙げられており、国として実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助対象事業については、地方公共団体が策定する事業実施計画を公募し、外部有識者により構成する審査委員会において審査の上、決定する。  補助対象経費については、補助要項等で厳格に定める。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	地域のニーズを踏まえて地方公共団体が策定する事業実施計画に基づき各団体が事業を実施するため、有効かつ効率的な事業展開が期待できる。  実績報告書を精査するとともに、実施された取組、成果物の活用状況等の現地確認、会計処理の実地検査等を行い、適正に補助金が執行されるよう努める。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名   —	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略(4)(文化財の特性や適切な保存に配慮しつつ、多様な手法を用いて積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会を充実する)及び重点戦略(5)(文化財建造物、史跡、博物館や伝統芸能等の各地に所在する有形・無形の文化芸術資源を、その価値の適切な継承にも配慮しつつ、地域振興、観光・産業振興等に活用するための取組を進める)に沿った事業を実施するものであり、国として実施する必要がある。</p> <p>・申請内容、積算等について、各事業要項に照らして精査し、効果的・効率的な執行に努める。</p> <p>・地方公共団体と事業実施団体が連携して地域の文化遺産を活用した特色ある総合的な取組を実施することにより、文化の振興及び地域の活性化が期待できる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(国民が事業の仕組みや執行等について理解を深める上で有用と考えられる情報等)			
<p>○文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定)  <a href="http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html">http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する）（単  
位：百万円）

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 民間団体(全550団体)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@6.1百万円 × 550件	3,355			
計		3,355	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0